

トルコ・UAE との原子力協定国会承認抗議！

原発輸出反対学習討論会

Part3



インドネシア・バンカ島で

原発建設が顕在化！



トルコとアラブ首長国連邦（UAE）への原発輸出に道を開く原子力協定が18日の参院本会議で承認されました。福島第1原発事故後に新たに署名・承認された原子力協定は初めてです。協定は夏にも発効すると言われますが、放射能汚染と被曝を世界に広げる原発輸出のための原子力協定締結に抗議しましょう。

安倍政権は、インド、サウジアラビアなどとも協定締結に向けた交渉をすすめており、相手国の市民との連帯を強化して阻止する運動を強めましょう。7月下旬～8月初旬にインドの反原発運動家であるクマール・スンダーラム氏をお迎えして各地でシンポジウムや交流会を開催します（裏面詳細）。

一方、インドネシア・スマトラ島の南東部にあるバンカ島でも原発建設の動きが顕在化しています。2014年3月20日発行の全国紙「TEMPO」誌は、「原子力庁（BATAN）によって行われた用地調査は、バンカ島が原子力発電所の建設にとって理想的なロケーションであると示している。バンカ島は、仮に原子力施設を危険にさらしうる地震や津波が起こった場合、最もリスクが小さいと評価されているため、この島が原発の用地により適していることが地理学的調査によって分かった。」と報じました。この調査のための「バンカ島原子力発電所予定地準備（2011-2013）コンサルタント業務供給実行委員会（2010年9月20日開催）に東京電力の子会社である東電設計（株）が参加しているのです。7月に実施される大統領選挙が終了すれば、原発建設の動きが一気に加速する可能性があります。こうした中、4月下旬から5月初旬にバンカ島への現地調査、反対運動との交流を行います。その報告会を兼ねてシンポジウム第3回実行委員会を開催します。ぜひご参加ください。

- 日時：6月11日（水）18：30～
- 会場：エルおおさか701
- 講師：遠山勝博氏（コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会事務局長）
- 参加費：500円

主催：コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会、協力：ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン
連絡先：三ツ林 携帯 090-8382-9487、Email: YFA64193@nifty.com、佐藤 携帯 080-6174-8358